

本時の学習 (2 / 11)

- 1 ねらい 草津町の人々の暮らしを調べる学習課題と追究の視点を一人一人が明確にする。
- 2 準備 教師 取材プリント
児童 学習ボード (取材活動用)
- 3 展開

学習活動	時間	学習への支援及び留意点	評価
1 前時の復習をする。 草津町について家の人などから聞いてきたことを紹介し合う。	5	○前時のまとめに書かれた文章をいくつか紹介しながら、草津町は山地で標高が高く、しかも寒冷地であることを確認する。 ○家の人に取材してきたことに関係ある写真を提示して、イメージをつかめるようにする。	
草津町の人々の暮らしを調べる自分の学習課題を決めよう!			
2 副読本のp. 59、60を読み、学習課題にできそうなことを本文から見いだす。 ・副読本の文章からとらえられる草津町の特徴ある社会的事象(7つ) (旅館、共同浴場、白根山(国立公園)、スキー場、国際音楽フェスティバル、国際姉妹都市、国内姉妹温泉) 教師が補足する社会的事象 ・湯もみ(伝統芸能)・ザスパ草津(サッカーチーム)・ホテル・商店街(土産物)・ゴルフ場・山の学校生活・山地に住む人々の日常生活・山地の農業・温泉水	10	○副読本には草津町の観光についての特色がつかめるように具体的な社会的事象が記述されているので、「これは何だろう?」「知りたいな。」というところにチェックをしながら読むようにする。 また、教室内に掲示しておいた「草津町紹介コーナー」(模造紙大のもの)を黒板に貼り、副読本以外で草津町の特徴となる社会的事象のいくつかを補足したり、前時の「山地の人々の暮らし」について予想したことの中で学習課題にできそうなことを加えたりする。 なお、教師が補足する社会的事象は、児童が追究する中で、山地の自然環境を生かした工夫、他地域とのつながり、山地に住む人々の願いなどの社会的事象の意味や働きがとらえられると判断したものである。	
3 草津町の人々の暮らしを調べる自分の学習課題を決め、プリントに調べる視点を書き込む。	5	○草津町の特徴である社会的事象の中から自分はどんなことを一番調べていきたいかを自分なりに判断し、この時点で追究していく社会的事象を選ぶ。 (全員が黒板に自分のネーム磁石を追究したい社会的事象の下に貼る。) ○学習プリントに、自分の学習課題と、調べる視点(目を付けたところ=着眼点)を書く。	
4 学習課題にできそうなことを学級の仲間同士で取材し合う。 (予想される、学習課題にできそうな社会的事象) ・旅館、ホテル ・草津の小学校の生活 ・山地に住む人々の日常生活 ・商店街(土産物店) ・農業(農作物) ・温泉 ・共同浴場 ・スキー場	15	○同じ学習課題でも調べるときの目の付けどころ(視点)が違ったり、違う学習課題を調べようとしている人から自分に取り入れられる視点を発見できるかもしれないと話し、学級の仲間から調べる視点を取材し合ったらどうかと投げかける。 (視点…学習課題を調べる着眼点。この視点が多いほど学習課題に対する追究が深まる。例えば学習課題を「旅館」とした場合、視点は「全体の数」「お客さんはどのあたりから来ているのか」「働く人の願いや工夫」「来てもらう工夫」「最近のお客さんの数の変化」などとなる。) ○取材に当たっては、学習課題とそれをどんな視点から見ていくかを明確にできるようにする。(取材プリント) 楕円形の中には「スキー場」「旅館」などの学習課題にできそうな社会的事象の名前を、四角の中には「いくつあるのか」「お客の数」「来てもらう工夫は」「どの季節が一番混むのか」な	ア①(関心・意欲) 自分たちの住む玉村町とは大きく異なった自然環境にある草津町の人々の暮らしにどのような関心や問題意識を持っているかを、取材活動中の児童の表情や行動、ノート記述の内容分析を通して評価する。

<ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能（湯もみ、歌） ・白根山（国立公園） ・国際姉妹都市 ・国内姉妹都市（姉妹温泉都市） ・国際音楽フェスティバル（児童に紹介する学習課題） ・ザスパ草津 ・ゴルフ場 		<p>どの学習課題を調べる視点(着眼点)を書くようにする。</p>
<p>5 取材活動の感想を話し合う。</p>	<p>5</p> <p>○同じ学習課題を調べようとしても、調べる視点が違うことや、違う学習課題を調べようとしている仲間から自分の課題を調べるときに使えるような視点を得られることに驚いたり、役に立ったりしたという感想を引き出したい。</p> <p>○意欲的に取材活動をしていた児童に、取材で得ることができた視点を発表させ、学習意欲をさらに高めるようにしたい。</p>	
<p>6 一人一人が自分の学習課題と追究の視点を明確にする。</p> <p>・自己評価と次時の予告</p>	<p>5</p> <p>○追究の視点については今現在考えているものをすべて書くようにする。(学習を進めていく中で視点が次第に増えていくことを児童自ら自覚できるようにするため)</p> <p>また、初めに考えていた学習課題とは違うものに変えてもいいことを話す。</p> <p>次時は同じ学習課題を追究する者同士で作ったグループで話し合いをする。</p> <p>○授業後、一人一人の学習課題と追究の視点を教室内に掲示し、自由に見られるようにしておく。児童にとっては仲間が何をどのような視点から調べていこうとしているかを見ることも一つの取材活動である。</p>	<p>イ①(思考・判断)</p> <p>草津町の人々の生活について、どのような学習課題を見いだしていこうとしたかを、学級内の児童への取材活動の様子や取材プリントの内容分析を通して評価する。</p>

資料（取材プリント 上…表、下…裏）

わたしは取材記者 4年3組 名前

草津町のどんなことが学習課題にできそうかな？
仲間からアイデアを聞き出そう！自分では思いつかないことがあったら尋ねよう

今、自分が調べようと思うこと

取材①	取材②	取材③
学習課題	学習課題	学習課題
目的のつけどころ(視点)	目的のつけどころ(視点)	目的のつけどころ(視点)

取材活動のときのプリントを教室内に掲示しておいた(下-写真)。

この掲示板の効果は予想以上に高く、仲間がどんなところに目を付けて調べていこうとしているのか、興味をもって休み時間に見ていた。

取材④	取材⑤	決定！これわたしの学習課題
学習課題	学習課題	学習課題
目的のつけどころ(視点)	目的のつけどころ(視点)	目的のつけどころ(視点)

自己評価 A B
感想

